

科目名			人間工学演習		
科目責任者		榎原 毅	(人間工学 教授)		
担当者		谷直道	(人間工学 講師)		
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位	時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>人間工学で扱う測定方法・評価法について演習を通じて包括的に学ぶ。ISOやAmerican Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) が策定している人間工学ガイドライン、生理計測やライフログデータの計測・分析についても学ぶ。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 筋力(握力、ピンチ力等)の測定方法、表面筋電図の測定を通じ、筋機能の測定方法を学ぶ。 2) ISO規格あるいはACGIHの標準的腰痛・上肢障害の評価法を学ぶ。 3) サイコモータービジランステスト(PVT)を用いた覚醒度評価方法について学ぶ。 4) 人間中心設計で用いられるユーザビリティテスト・エキスパートレビュー法を学ぶ。 5) 人間工学研究で扱うデータ処理および統計解析法を学ぶ。 6) タスク分析・標準時間の設定法(MTM法・MODAPTS法)などの仕事の分析手法を学ぶ。 					
● 評価方法	演習の参加内容50%、討論等50%で評価する。				
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。				